



MS306-18001 フレキシブルドロースティフナー

取付・取扱要領書

この度はTRDフレキシブルドロースティフナーをお買い上げいただきありがとうございます。
本書にはTRDフレキシブルドロースティフナーの取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません、取付けは車両登録後に行ってください。
- 本商品の取付け作業・部品交換は、必ず専門の整備工場で行ってください。
- 本商品の取付け作業・部品交換は、必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

■ 品番・適合車種

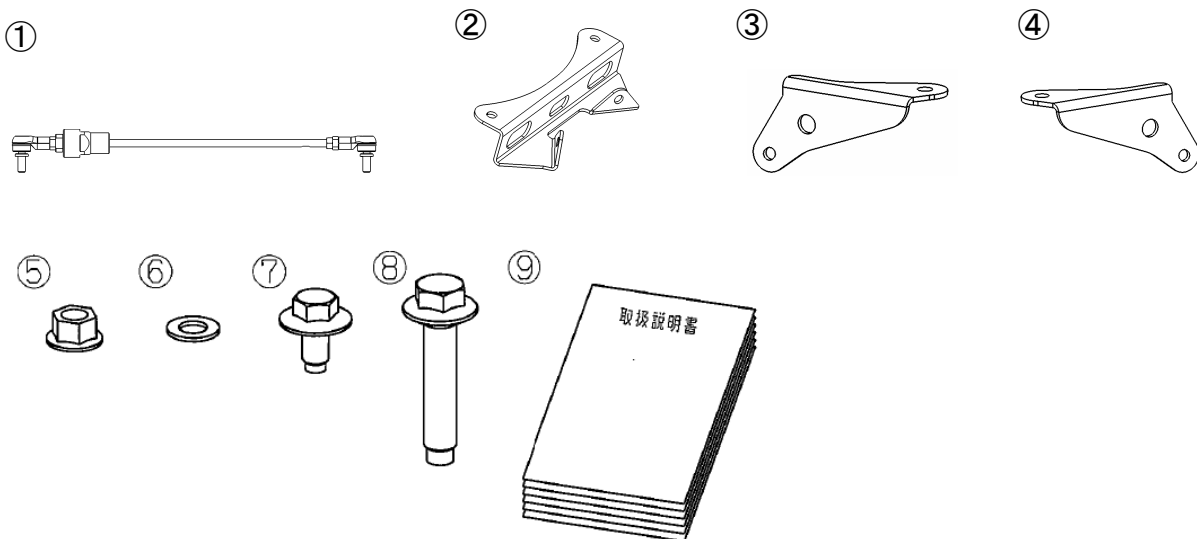
品番	適合	型式	年式	備考
MS306-18001	86	ZN6	'12.04~	

- ・ 最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。<http://www.trdparts.jp/>
- ・ TRDメンバーブレースキット (MS300-18001) との同時装着は出来ません。

■ 構成部品

	部品名	数量	備考
①	フレキシブルドロースティフナー	2	
②	フロントブラケット	1	
③	リヤブラケットRH	1	
④	リヤブラケットLH	1	
⑤	セルフロックナット	4	M8
⑥	ワッシャー	4	M8用
⑦	フランジボルト	2	M8×25
⑧	フランジボルト	2	M10×50
⑨	取付・取扱説明書(本書)	1	

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。



■目次

表紙・品番適合・構成部品.....	1
取付けに必要な工具・保護具・消耗品.....	2
取付け・取扱い上のご注意.....	2
取付構成図.....	3
TRDフレキシブルドロースティフナー取付け要領.....	4～8
取付け後の確認・点検.....	9
締付けトルク一覧.....	9






■取付けに必要な工具

一般工具、トルクレンチ、スケール（150mm）








■取付けに必要な保護具・消耗品

保護シート、保護テープ、

■取付け・取扱い上のご注意

 警告	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が傷害を負ったり、物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。
	してはいけない行為
	必ずおこなっていただくこと

警告

-  本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因になります。
-  取付け作業は、必ずエンジンが冷えていることを確認してください。エンジンルーム、マフラーが熱いやケドをする恐れがあります。
-  取付け作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行なってください。車両が予期せず動き、体を挟むなどの重度な事故の原因となります。
-  取付けの際は、規定トルクに従って、取付けボルト・ナット類を締付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩んで、脱落などにより事故を招くおそれがあります。また締付トルクが過大だとネジが破損する恐れがあります。
-  取付け後、本商品と他の部品との干渉を確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  本商品装着後に、衝突などの強い衝撃を受けた場合は直ちに安全な場所に停車してください。取付け部分や本体に、変形や破損、故障が生じる場合があります。必ず、整備工場にて点検を受けてください。
-  本商品取付け後、走行中に異常な振動や異音を感じたら直ちに安全な場所に停車してください。そのまま走行を続けると、重大な事故や破損の原因となる場合があります。整備工場にて点検を受けてください。

◆本商品は1年・20,000kmの保証を実施いたします。（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。

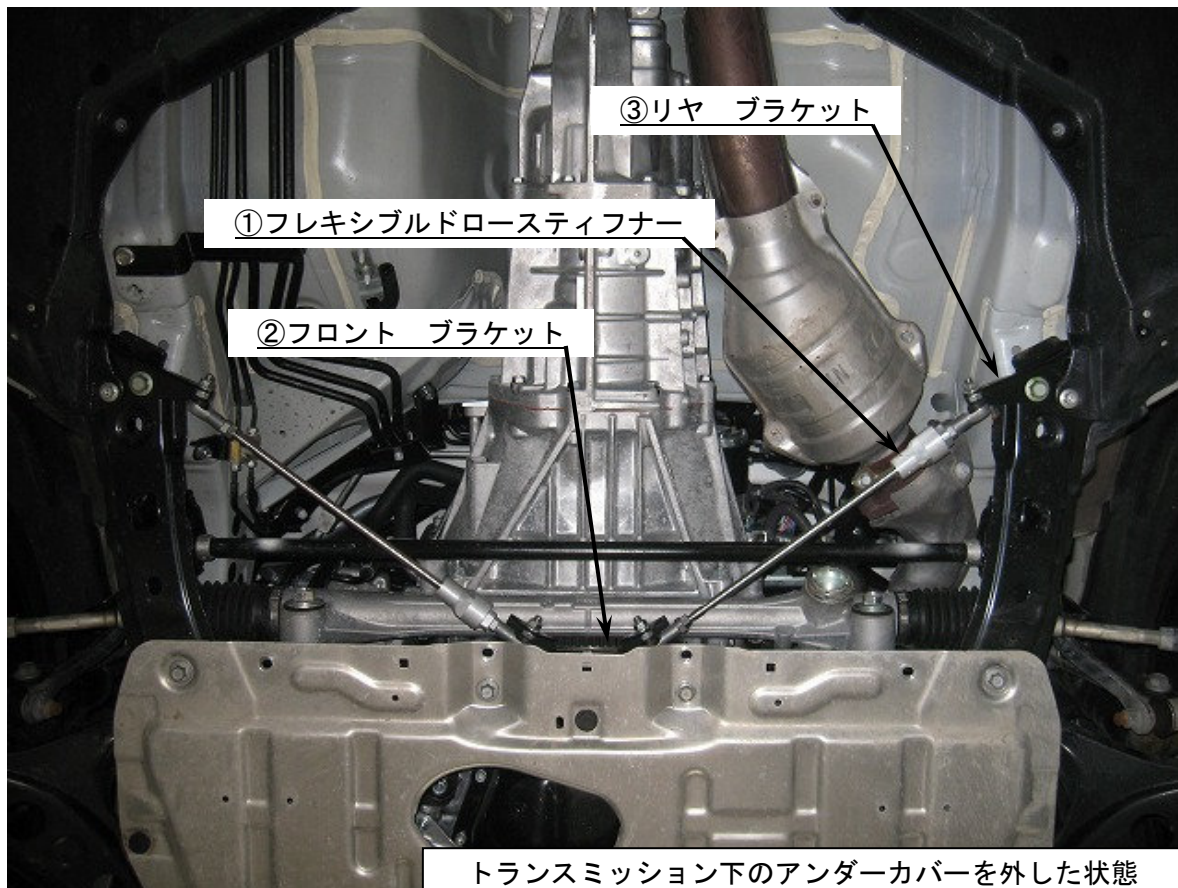
◆不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ至急ご連絡をお願いいたします。

■ 取付構成図

後方

左側

右側



車両前方



■ ドロースティフナ取付け要領

本キット取付に伴う関連脱着部品の交換作業要領は必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い作業を行ってください。

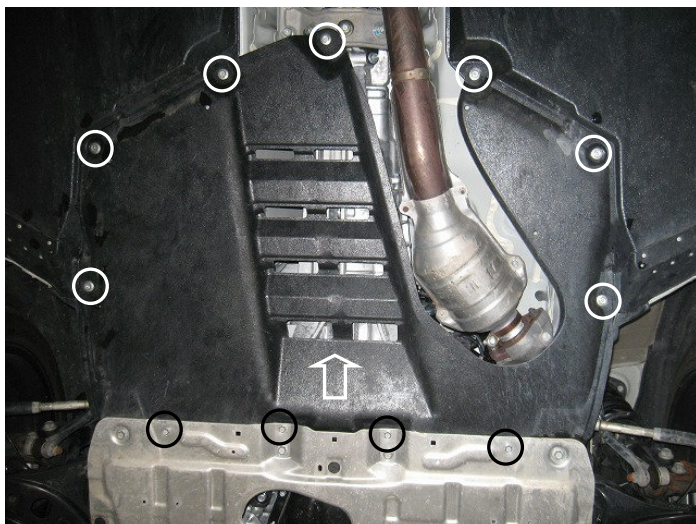
A : 取付手順

- 1) バッテリーのマイナス端子を外す。
- 2) 車両をリフトアップし、非接地状態にする。
- 3) トランスミッションアンダーカバーを外す。



警告

安全確保のため、作業は**必ずエンジンを停止**した状態で**バッテリーのマイナス端子を外して**行ってください。



○印ボルト 11本を外し、カバーを車両後方(⇒方向)へスライドさせて外す。

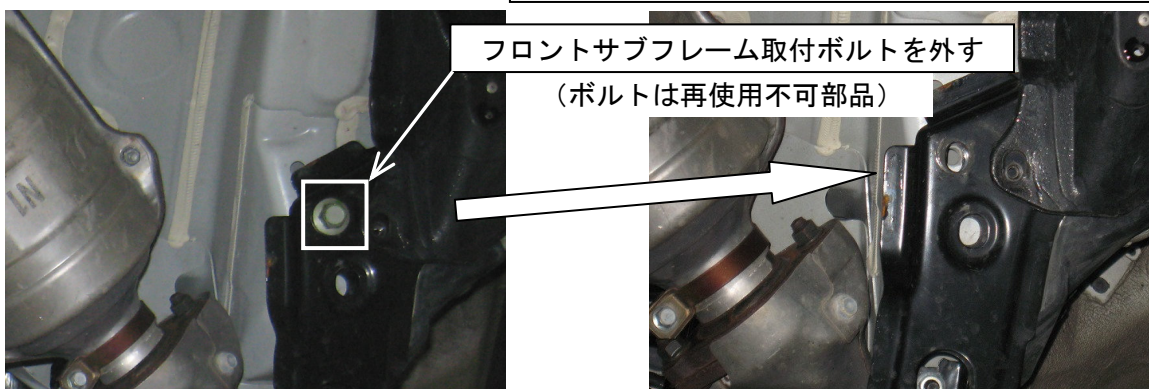
(ボルトは再使用する)

○印ボルト⇒再使用する

□印ボルト⇒再使用しない

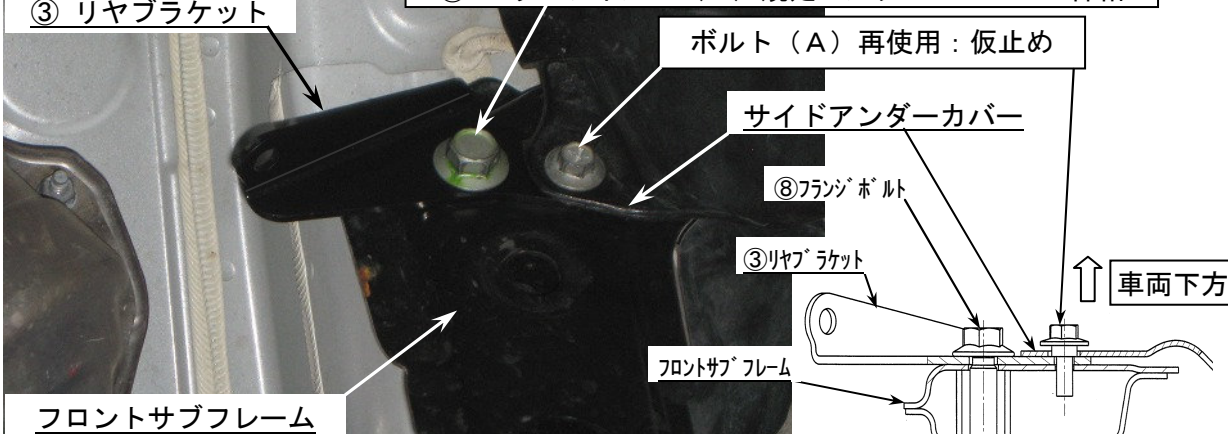
- 4) リヤブラケットを取り付ける。(LH/RH)

写真はRH側、LH側も同手順にて取り付ける

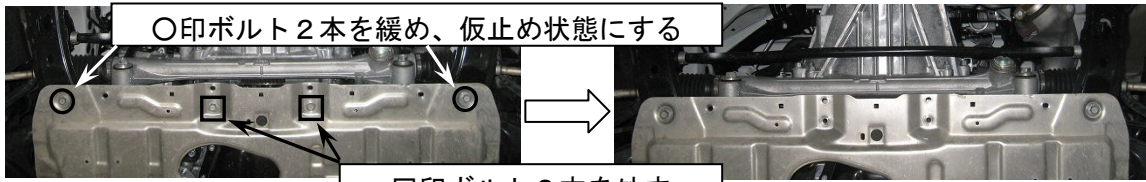


③リヤブラケットをサイドアンダーカバーとフロントサブフレームの間に差し込み、ボルト(A)を仮止め、⑧ フランジボルト(B)は規定トルクで締結する。

⑧ フランジボルト(B) 規定トルク 60 N・mで締結



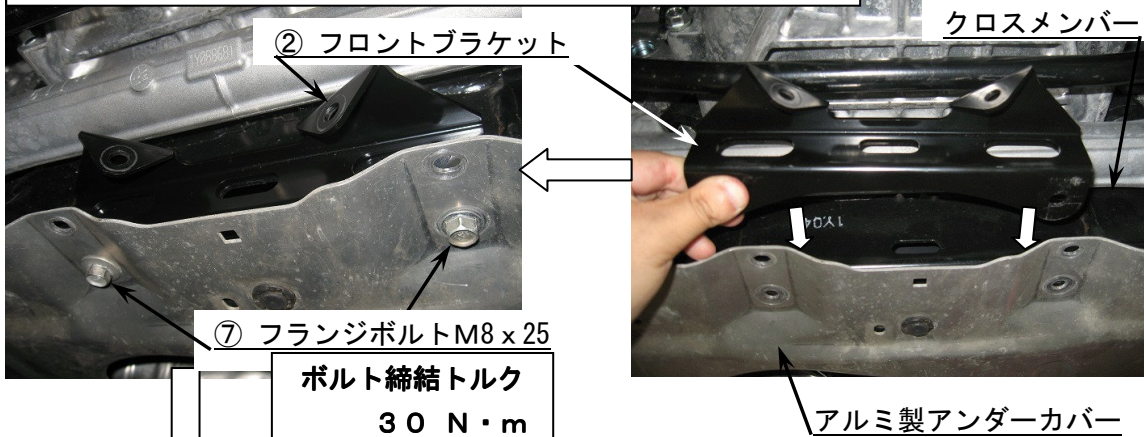
5) フロントブラケットを取り付ける。(ボルトは再使用する)



○印ボルト2本を緩め、仮止め状態にする

□印ボルト2本を外す
(再使用しない)

クロスメンバーとアルミ製アンダーカバーの間にフロントブラケットを挿入し、⑦フランジボルト2本を規定トルクで締結する。



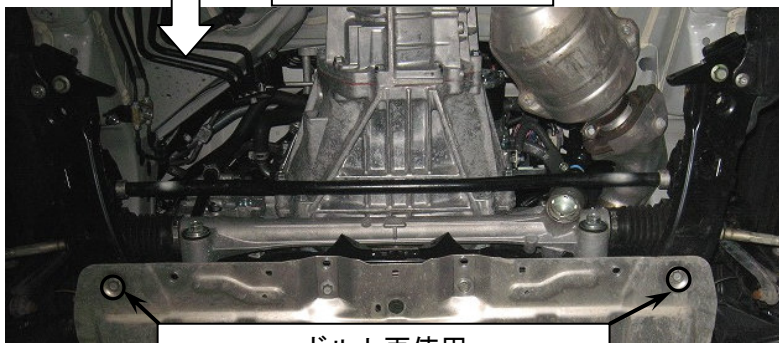
② フロントブラケット

クロスメンバー

⑦ フランジボルトM8 x 25

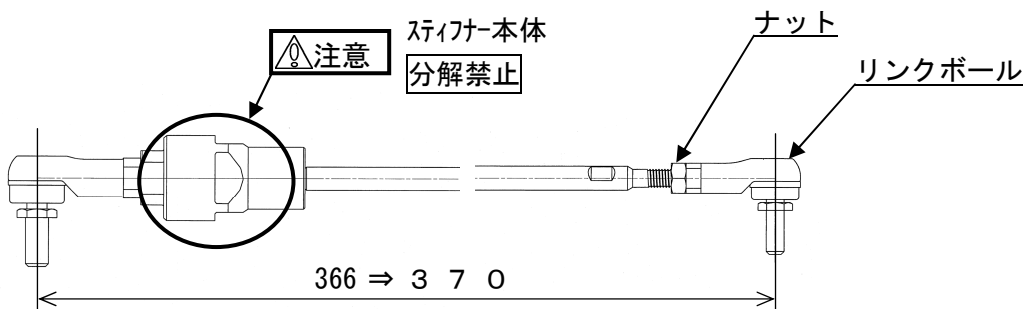
ボルト締結トルク
30 N・m

アルミ製アンダーカバー



ボルト再使用
ボルト締結トルク 30 N・m

6) ドロースティフナーの長さを調整する。



⚠️注意
スティフナー本体
分解禁止

ナット
リンクボール

366 ⇒ 370

⚠️注意

スティフナー本体部は防水及び防塵処理の為、シーリング剤を塗布後規定トルクにて締結を行っていますので、分解しないで下さい。無理に分解すると破損する恐れがあります。

👉アドバイス

出荷時にスタッド中心間距離を366mmに調整していますが、ナットを緩めリンクボールを回転させて370mmを目安に再調整して下さい。

7) ドロースティフナーを取り付ける。

ドロースティフナー①を取り付ける際は、フロントブラケットとリアブラケットの穴位置に合わせて長さを再調整して下さい。

⚠注意

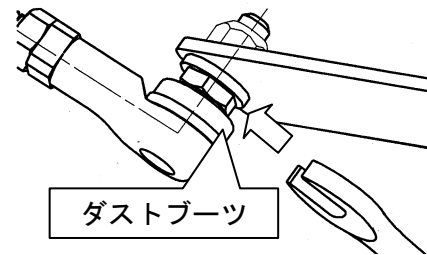
長さが違ったまま取り付けると損傷する場合があります。

また、LHとRHは取り付け方向が異なりますので、ご注意ください。(写真参考)

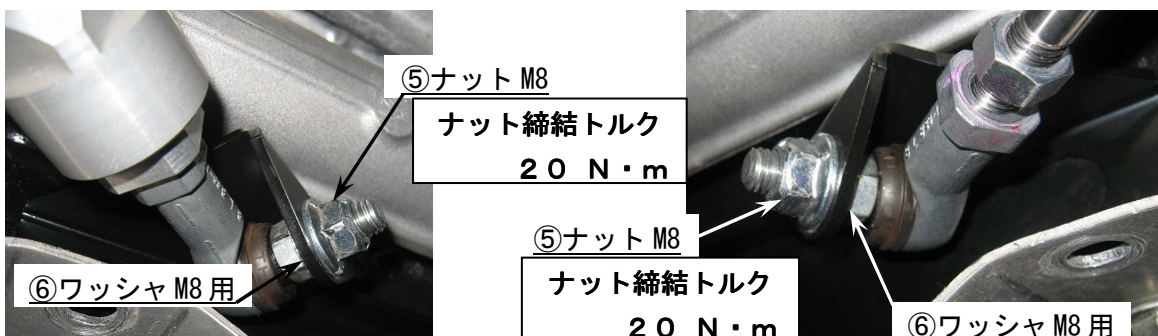
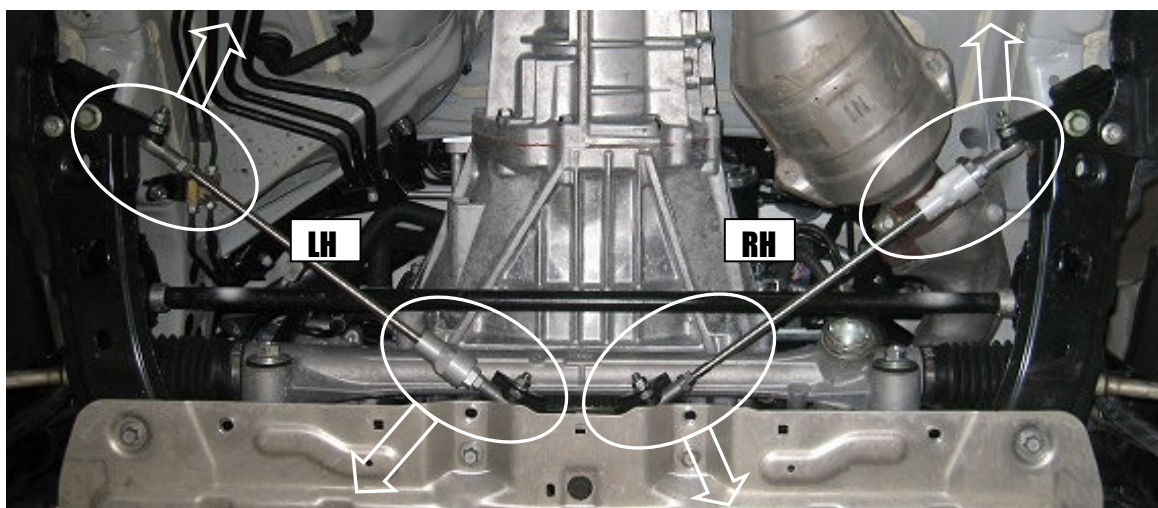
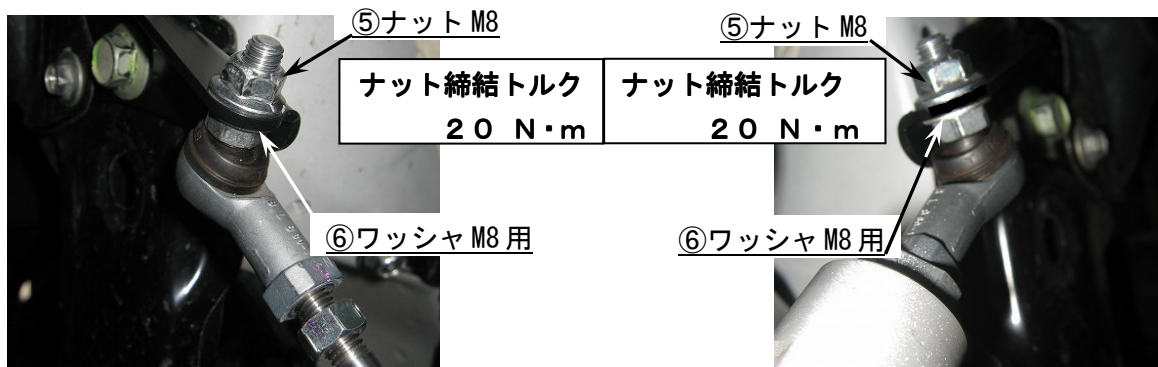
⚠注意

取付方向を誤るとトランスミッションアンダーカバーと干渉します。

⚠注意

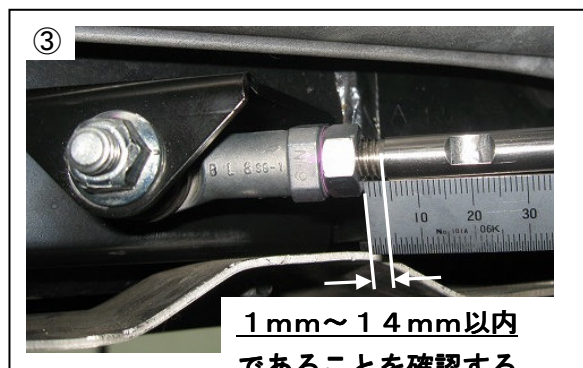
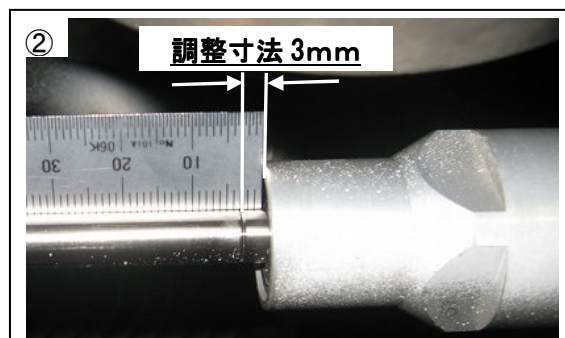
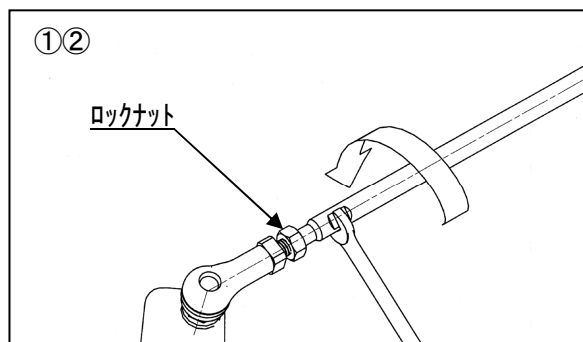


リンクボールのダストブーツ損傷(グリス漏れ)に注意して下さい。スパナによるかじり防止の為、薄ロスパナの使用を推奨します。



B : プリロード調整手順

- ① ロックナットを緩める。
- ② スティフナー本体（アルミ製）端面からロッドミゾの距離が3 mmになるまでロッドを矢印の方向にスパナ等で回転させる。
- ③ ロックナット部寸法が1～14 mm以内であることを確認する。
- ④ 調整が完了したらリンクボールに負荷を掛けない様にスパナを使用して指定トルクでロックする。



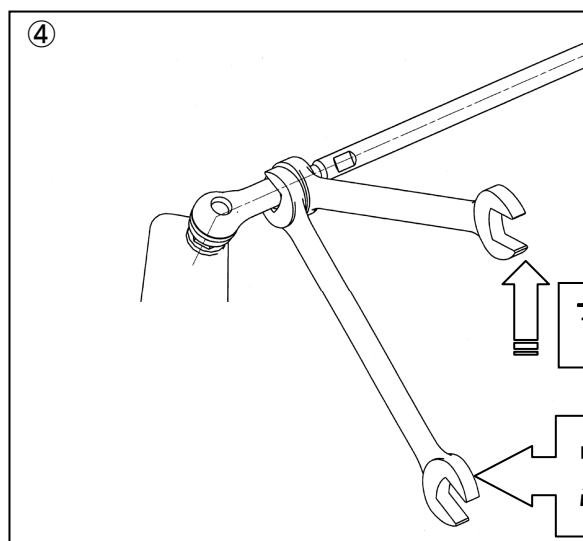
⚠注意

スティフナーのプリロード調整値の変更はしないで下さい。

3 mm以外の調整値で走行すると性能の悪化だけでなく、本品や車体に損傷を与える恐れがあります。

⚠注意

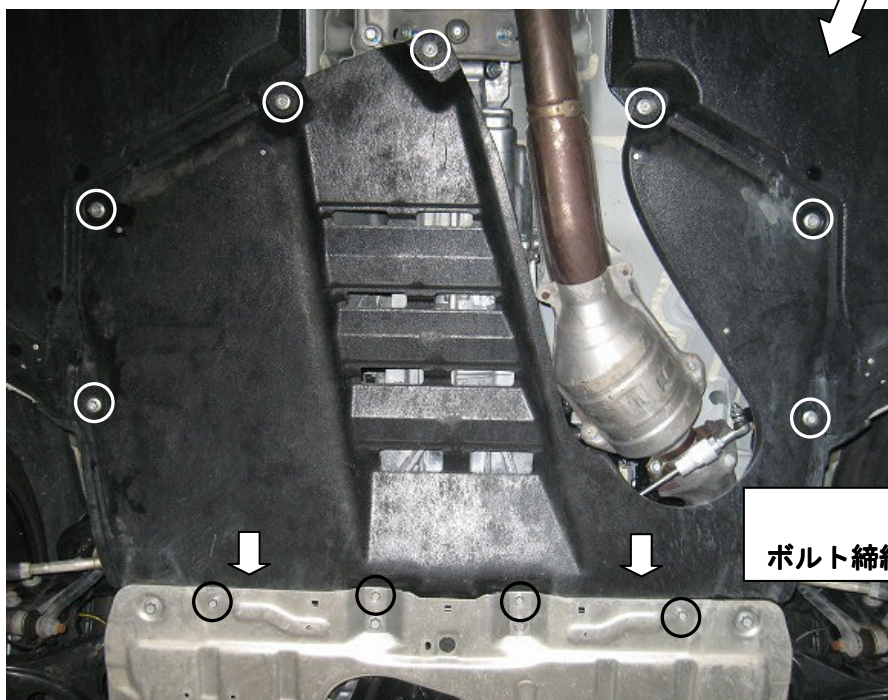
上記範囲外の場合は、ねじに損傷を与えます。
ブラケット取付位置を修正して1～14 mm以内になるように再調整してください。



8) トランスミッションアンダーカバーの取り付け

仮止め状態の○印ボルト2本を外す

(ボルトは再使用する)



カバーを車両前方(⇒方向)へスライドさせてアルミカバーの上面に挿入し、○印ボルト(再使用)11本を規定トルクで締め付ける。

ボルト再使用
ボルト締結トルク 7.5 N・m

 警告

ボルト・ナット類は**規定トルクで確実に締付けること**。
締付けが確実でない場合、異音発生や走行状態が不安定になり、事故発生の恐れがあります。

C : 取外し手順

取付の逆手順で行う。

※注意：必ずスティフナーのプリロード調整値を0mmにした後に取り外して下さい。

(7ページのプリロード調整手順の項を参照)

ドロースティフナー締付トルク一覧表

締付け部位	部品 No	締付トルク	本数
ドロースティフナー取付け部	④ナット	20N・m	4
ドロースティフナーのロックナット部	ロックナット	6N・m	2
リヤブラケットとサブフレーム	⑧フランジボルト	60N・m	2
アルミ製アンダーカバーとフロントブラケット	⑥フランジボルト	30N・m	2
アルミ製アンダーカバー部	フランジボルト (再使用)	30N・m	2
トランスミッションアンダーカバー部	フランジボルト (再使用)	7.5N・m	11

■ 取付け後の確認・点検

- ・ 取付へ作業後は、試走を行い取付け各部のボルトの緩みや異音・干渉が無いことを確認する。
 - ・ 車両装着後は、定期的に取り付け部の締付け確認・点検を行う。
- ※ 定期点検時やシーズンチェック時などに行ってください。
- ・ 本書は車検証などと一緒に車両に常備いただき、定期点検時等に提示して装着車である旨を整備工場に告げて点検整備を行って下さい。